

第19回 ジャパンオープンハンドボールトーナメント 戦 評 報 告 書

競技日	平成26年 8月10日	試合番号	D-ス
種別・回戦	女子・準決勝	会場	貴志川体育館

<small>かがわぎんこうちーむほんど</small> 香川銀行T・H			<small>きょうとくらぶ</small> 京都クラブ		得点チェック欄	
33	20	前半	5	15	前半	<input type="checkbox"/>
	13	後半	10		後半	<input type="checkbox"/>
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>

戦評	戦評委員氏名	大東 裕
----	--------	------

準々決勝でHC長崎との激戦を勝ち取った京都クラブが、今大会優勝候補の香川銀行THにどのような戦いを挑むのか興味ある試合となった。香川銀行THの9番藤井のロングシュートから始まり、速攻でも連続得点を重ね、主導権を握る。京都クラブはセットプレーによる巧みなパス回しで、11番岩田が得点を決めるが、香川銀行THのスピードを抑えることができなかった。タイムアウト終了直後、京都クラブは14番亀山の鋭いポストパスから得点を決めるが、香川銀行THの速攻による得点が続く、前半20対5で折り返した。

後半開始直後、京都クラブはメンバーを変え、3番吉本が先制し反撃を試みた。そして1-5ディフェンスの固い守りに、香川銀行THは攻めあぐねていた。しかし、その後も京都クラブは攻撃の糸口をつかめず、得点差を縮めることができなかった。香川銀行THは2番重信と14番太田が最高得点を決める大活躍で、8年連続決勝進出を果たした。

送信担当記録委員	的場 知嘉子
----------	--------